

宝木中学校だより

たくましく さとく あかるく いきいきと

令和3年2月号

発行責任者 手塚宏行

立春を迎えて

立春の頃は一年で最も寒い時期です。この寒さのピークの後、少しずつ春が近づきはじめ、その気配が感じられるということが、いわれようです。まさに「春遠からじ」（春は遠くないの意味）ですね。

それとともに3年生は、総仕上げの時期。いよいよ県立入試と卒業の準備が始まります。また、1、2年生は学校の中核となり、各個人が自覚を深めるとともに、様々な力をより一層つけていく時期です。

感染防止のために、立志式を少し延期しましたが、裏面に夢や希望を持つことの大切さを掲載しましたので、この機会にもう一度自分自身を見つめ、是非ともそんな素敵な生き方をする生徒になってもらいたいと願っております。

少年消防クラブ市長特別表彰

本校少年消防クラブ（消防・安全委員会）が、このたび、市長特別表彰を受賞しました。

これは、昨年10月30日に行われた少年消防クラブ研究発表会で、

「知っていますか？救急車の適正利用」という表題

で、3年生の平山佳恋さん、渡邊安佑実さんが発表したところ、その内容が極めて優秀であり、防火思想の普及啓発に大きな貢献をしたと認められたことによります。

研究発表の内容を簡単にご紹介しますと、救急車の利用の意識や理解等の実態について本校生徒等にアンケート調査をするとともに、使用の望ましいあり方について、次のようにまとめています。

- ・宇都宮市では13台の救急車を運用
- ・宇都宮市では一日平均60.4件の出動（令和元年度）
- ・救急車を利用するときは、個人が判断することになる。
- ・救急車の適正利用について学ぶ必要がある。
- ・救急車の適切でない使い方の例。救急車を呼んだほうが良い例。
- ・悩んだときはどうするか。 ・全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の紹介

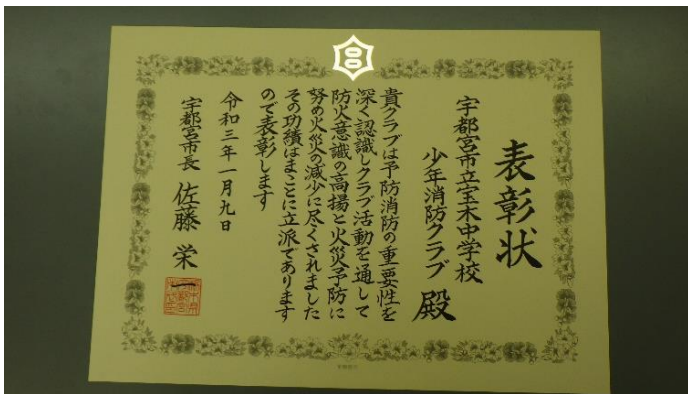
くしくも今年度はコロナ禍で、例年以上に医療機関とともに救急車の逼迫が報道されています。そんな今だからこそ、この発表は時宜をえたものであり、市民一同が深く考えていかなければならないものと考えております。

◆◆3月の主な行事予定◆◆

8日(月) 県立高一般選抜、1、2年実力テスト	16日(火) 立志式
10日(水) 卒業式予行、同窓会入会式	前期生徒会立会演説会・選挙
11日(木) 卒業証書授与式	24日(水) 修了式
12日(金) 県立高一般選抜合格発表	31日(火) 離任式

※学校だよりは、個人情報保護に対応し、個人名や写真は本人等の許諾を得て発行しています。

※学校だよりカラー版は、「宇都宮市立宝木中学校」HPに掲載しています。



「夢」や「目標」をもつことはなぜ大切なのでしょう

昨年度同様で恐縮ですが、大切なことですので、今年度も取り上げたいと思います。

お子さんは「夢」をいくつか持っていますか？「〇〇に行ってみたい。」「〇〇の選手になりたい。」「〇〇士になりたい。」いろいろな夢がありそうです。

そこで、「夢」や「目標」をもつことで、どんないいことがあるのか、一緒に考えてみることにしましょう。



「夢」や「目標」を持つメリットとは

「夢」や「目標」があることで、一般的に次の2つの効果が期待できると言われています。

1. 毎日元気に活躍できるエネルギーとなる。（学習や運動等の質を高めることを含む）
2. 今後の進む道の方向性が定まる。

1. について、「夢や目標を持つこと」は、行動への大きなエネルギーを秘めています。例えば、行きたい高校・大学等・進む道・憧れの職業、それらが定まってきたとき、「やらされる勉強・練習」が「自らやる勉強・練習」に徐々に生まれ変わります。

2. については、進路や生きがいが明確となり、今後の岐路でその方向を選択し、限りなくその業界等の近くに自分の身をおいていくことになります。

「夢」や「目標」の見つけ方

では、どうしたら「夢」や「目標」が見つかるのでしょうか。そのために、いろいろな体験をして欲しいのです。もちろん直接体験が望ましいのですが、間接体験（例えば、TVのドラマやプロフェッショナルの生きざまを取り上げた番組の視聴、旅行、読書、遊びや趣味）の中から生まれてくることも多いようです。ですから、可能な範囲で、自然や人や興味のある分野とふれあわせてみてください。そして、「夢」や「目標」に向かって、あるいはそれが見つかったときに、チャレンジできる立ち位置にいられるよう、今やるべき努力をするよう励ましてあげてください。



粘り強さと柔軟性

最後に、「夢」や「目標」をもつことに対し、「叶わなかったら、いやな思いをする」などと消極的になる生徒もいます。

そんな時のためにも、途中で修正したり、変えたりしてもよいことを繰り返し教えてください。「夢」や「目標」をあまりにも簡単にあきらめてしまうことはどうかとは思いますが、真剣に向き合った結果、変更するのであれば、むしろ大変よいことではないかと思います。

「夢」や「目標」に向かい粘り強く取り組むことはもちろん大切ですが、このように柔軟性をももちあわせることが、「夢」や「目標」をもつことをためらわない逞しい人間に育つことにつながると考えています。

また、趣味的要素の強い「夢」であったとしても、「いつかチャンスがあれば・・・実現したい」と考え前向きに生きていく、そんな能動的で明るい生き方をしてもらいたいものだと考えております。

